



隊友ロゴマーク

支部だより 9月号

第161号 2018. 9. 1

香川県隊友会丸亀支部

〒763-0071 柞原町 759-8 Tel 0877-22-9869

支部長 鳥生幹雄 090-5042-1481



武田様宅の庭に咲く鷺草

8月の活動報告

1. 地域ボランティアへの参加

15日(水)10:00~11:00の間、丸亀護国神社の招魂祭を支援しました。開始に先立ち、09:00から神社境内の清掃を実施。ご参列のご遺族は2名。

宮司金森重昭様祭司のもと、世話役として宮本崇代様、支部からは、赤松、高島、武田、小松、山下、柴田、荒谷、大西(前支部長)の会員9名、奉賛会からは、吉川会長、水本市議、草薙様(普通寺)のご奉仕を頂きました。

2. 支部会議等

・支部だより8月号配布

4日(土)09:00~10:30の間、香川県護国神社参集殿において、大西、高島、小松、武田、西岡(克)、石原、才谷、山下、福山会員の9名が配分作業を実施。

・西日本豪雨災害派遣部隊の帰隊出迎え(普通寺駐)



台風7号と停滞した前線の影響で記録的な大雨となり、土砂崩れや河川の氾濫が相次ぎ、各地に救援部隊を派遣していた第14旅団。その最終部隊の出迎えを県隊友会会員20名が実施。

丸亀支部から、大西前支部長、高島、武田会員の3名が行事に参加。(8月16日)

8月招魂祭の実施風景(8月15日)

9月以降の予定

1. 地域ボランティアへのお誘い

丸亀護国神社にて、毎月15日10:00から月例招魂祭が行われます。会員のご参加、ご協力、宜しく申し上げます。清掃奉仕・準備は、09:00から実施。

2. 支部等会議

・支部だより9月号配布

日時：9月1日(土)09:00~10:30

場所：香川県護国神社参集殿

3. 県行事等

・理事役等会議

日時：9月22日(土)

場所：高松合同庁舎2階会議室

・防災資材点検

日時：9月30日(日)10:00~12:00 予定

場所：丸亀市水防センター(垂水町)

お願い

9月の防災資材点検に合わせ、水防センター敷地内の草刈りや樹木の剪定等を実施予定です。会員皆様方の積極的な御協力をよろしくお願い申し上げます。

終戦から73年

8月15日(水)東京都千代田区の日本武道館では、政府主催の全国戦没者追悼式が開催され、天皇、皇后両陛下のご臨席のもと安倍晋三首相、遺族約5500人が参列し、310万人の戦没者のご冥福を祈った。

時は同じくして15日09:00から隊友会丸亀支部会員有志は、丸亀護国神社に集い、招魂祭の準備を実施。

前もって、小松会員が境内の環境整備を実施して頂いていた為、境内の環境整備作業・祭祀準備は短時間で終了することができました。10:00から宮司金森重昭様により祭祀は執り行われ、祝詞奏上の後には、赤松会員による尺八の吹奏奉納が行われ引き続き玉串を奉奠、ご英霊の御霊にお祈りを捧げました。



会員のひろば (近況紹介)

記事投稿は、支部長又は荒谷直政(メール stngxvf8323@mc.pikara.ne.jp)までお願いします。

丸亀護国神社奉賛会について



支部だより 6 月号で紹介しましたとおり、4 月 15 日、丸亀護国神社奉賛会が結成されました。毎月 15 日招魂祭の終了後、ひまわりセンターにて役員会を開催し護国神社奉賛会の役員組織、新市庁舎周辺整備、会の増勢のあり方について検討を重ねております。

市庁舎隣接の地域(丸亀護国神社境内及び明治天皇行在所跡碑、旧歩兵第 12 連隊軍旗塚他旧軍関係石碑)は、将来の永きにわたり、史跡公園として丸亀市民が親しみを持つような環境に整備する方向で検討が進められています。

さて、神社に祀られるご英霊の祭祀についてですが、旧軍関係者(綾忠男様 陸士 57 期)のご高齢により平成 12 年から隊友会丸亀支部が中心となり、毎月の招魂祭、毎年の注連縄奉納のご奉仕をして参りました。今後も奉仕活動は支部会員の皆様のご協力を得て継続して参りますが、奉賛会では、会結成の好機を捉え丸亀市民にも広く呼びかけ会員の増勢に努め御英霊に安心していただけるよう会の基盤確立を図りたいと考えています。

つきましては、隊友会丸亀支部会員の皆様には、奉賛会にご加入いただきたく宜しくお願い致します。

詳細は、大西(携帯 090-1007-9199)までご連絡ください。
尚 個人会員 1 口 500 円/年、特別会員 1 口 5000 円/年です。

隊友会丸亀支部の先輩と共に奉仕活動に参加 (終戦記念日に丸亀護国神社の招魂祭を支援)

荒谷直政 会員 垂水町

15 日早朝、雨音でいつもより早く、目が覚める。庭に出るとやっぱり雨が・・・降っていた。いそいそと雨カップや傘を準備する。「ああ！今日は雨の中での作業になるかも？」と少し憂鬱なスタートである。

午前 9 時前に丸亀護国神社に到着すると、晴れ男の登場により雨は、あがり、一安心するも湿度は非常に高く蒸し暑く感じられた。

時計の針は、まだ 9 時を指してはいないが、境内では段取り作業だと言わんばかりに、熟練の先輩達は既に作業にとりかかっていた。

そして 9 時になると人数も増え、カメラのフェンダー越しには、会員各々が環境整備作業に戦闘加入してゆく様子が見てとれた。

さすが皆さん元自衛官、境内の作業状況を瞬時に確認するや否や、すぐさま各々が出来る作業へと移行してゆく、熊手を手に取り落ち葉を集める人、ごみ袋を取りに行く人、テミで落ち葉を運ぶ人、一杯になったゴミ袋を集積する人、祭壇の準備をする人、編成表や担任区分表は無くとも、効率的で無駄のない作業が行われてゆく、若年会員の私もお歳を召された大先輩方に作業量で負けては、ならじとの思いから、つつい、知らぬ間に現役時代に染み付いた作業スピードになっていたようだ。それを某先輩から指摘され、はっと一瞬、冷静になるが、どうしても周りの作業している先輩方の動きが気になるのである。「負けちゃー いけねーべ!」「私が運びます」と先輩が持つゴミ袋を取り上げる。

作業終了するころには、大粒の汗が噴き出してきて止まらない。そんなに急いだペースで作業しなくても充分すぎるほど時間はあるのにと少し反省した次第です。

境内の環境整備が一段落すると大西前支部長から第 14 旅団災害派遣部隊(最後の部隊)の出迎えについての説明とともに、鳥生支部長の手術・入院の近況について説明があった。引き続き、直江県事務局長からも、災害派遣部隊の活動状況等についての説明があり、最新の情報を得ることができた。

また赤松参与からは、ご自身の近況として 2 年前から尺八を携行し、2 回目の四国 88 ヲ所参りを始められ、今は、愛媛県今治市まで来ている。との充実した生活ぶりが紹介されるとともに、境内に植えられた松の経緯についての説明があった。



そして金森宮司がご到着され、招魂祭は予定どおり厳粛に執り行われました。

参加会員一同、玉串に自分の心をのせて神に祈りを捧げ、日本の平和と郷土の発展を祈りました。

サギソウ栽培のコツ

西部地区部長 武田利治



サギソウは蘭科の花で春植えの球根です。栽培のコツは、「水やりはやや多めにし、乾燥させないようにする・日当たりと風通しの良いところ・毎年植え替えること」

サギソウは白鷺が舞うような涼しげな姿を連想させます。細い茎に咲く白い花が風にそよぐのを見ると、暑さも忘れてしまいそうです。

本来湿原に生えている植物ですから、水を絶対に切らさないこと、水をたっぷりやります。「乾燥させないこと」、置き場は日当たりのよい場所に、ベランダなどのコンクリートの照り返しのある場所は良くないです。空中湿度が必要なので他の鉢物の間などがいいと思います。日射しがきつい時は、遮光すると葉焼けを防ぐ事ができます。

ちなみに、今栽培している無地のサギソウは、平成 5 年頃、日本原演習場から少し頂きこつこつ増やしたものです。